

英 語

I

解答

問 1. (ア)―③ (イ)―③ (ウ)―③ (エ)―①

問 2. (a)―② (b)―② (c)―④ (d)―② (e)―②

問 3. (あ)―③ (い)―③ (う)―② 問 4. ③ 問 5. ②, ⑤

解説

《私の人生を変えた瞬間》

問 1. (ア) 続く文 (In Amman, …) で筆者が育った町ではサッカーをしたい子はただ頼むだけでよかったという内容があることから、③strange を入れて「私にとって、彼らと一緒にプレーしてよいかと尋ねることは何も奇妙なことではなかった」とするのが自然である。

(イ) 空所を含む文の前半部は、筆者が黒人やアジア人、マイノリティ選手たちの女性コーチだとあるが、それと対比する形で属するリーグの大半を占めるのは白人の子どもと男性コーチであると推測できるだろう。よって、空所には③male が適切。

(ウ) 規模が大きくなる様子なので、③soon became を入れて「そのサッカーチームはすぐに勉強グループになり、そして学校になった」とする。

①「～をバラバラにする」 ②「～に追いつく」 ④「かつて～であった」

(エ) 空所の直後に and get discouraged と記されていることから、似たような意味合いのものが入ることがわかるので、①fail を入れて「失敗し、やる気をなくしたが、あきらめずに再び挑戦する子どもたちも誇りに思う」とする。

問 2. (a) position は「地位」という意味なので、②が近い。

(b) flee は「逃れる、避難する」という意味なので、②が近い。①「～を引き起こす」 ④「～を参照する」

(c) back home は「自国では、故郷では」という意味なので、④が近い。

②「留守である」

(d) eventually は「最終的に」という意味なので、②が近い。

(e) run は「管理する」という意味なので、②が近い。①found「創立する」

問3. (あ) 第3段第2文(When I was …)と同段第5文(In Georgia, …)にそれぞれヨルダンとジョージアでゴールポストとしてカメや岩を利用する旨のことが記されているので、③が正解。

(い) this experience とは、第4段(The buildings were …)に記されているアメリカの移民政策や英語学習、長時間労働、外国人嫌悪に直面していることを指している。よって、③「歓迎されていなかったけれども、定住のために頑張って働かなければならなかった」が正解。

(う) 波線部(C)の意味は「一夜にして私は大金持ちの子どもから何も持たない者へと変わった」。その理由は波線部(C)直前の文(My family broke …)に、家族が私との関係を断ったと記されているので、②が正解。

問4. 最終段第5文(I want them …)以降に子どもたちへの願いが記されているが、とりわけ同段最終文(What I work …)に、筆者自身が日々努力していることはto show the power to recover and a belief in myself …「再起する力と自分を信じることを示すこと」とある。これは自身の経験を踏まえての子どもたちへの望みと考えられるので、③「自分に自信をもち、何度も立ち上がること」が正解。

問5. ①「筆者はアンマンを離れた後にサッカーを始めた」

第1段第3文(But seeing a …)に一致しない。

②「筆者はアメリカの大学に進学する前は、自分の性的特徴を隠さなければならなかった」

第5段第3文(As a gay …)に一致する。

③「筆者はアメリカで政治的亡命者の保護を受け入れられた直後に、サッカーを教え始めた」

第6段第1文(I spent a …)に一致しない。

④「筆者が『フージーズ』を一流のチームにするまでに数年かかった」

第7段最終2文(By the middle … across the US.)に一致しない。

⑤「彼女がクラークストンでサッカーの試合に参加したとき、成功の定義の仕方が変わった」

最終段第2文(When I think …)に一致する。

II

解答

問 1. (ア)―④ (イ)―④ (ウ)―② (エ)―④

問 2. (a)―③ (b)―② (c)―④ (d)―② (e)―②

問 3. (あ)―② (い)―② 問 4. ④ 問 5. ①, ②, ⑦

解説

《調査：日本の大学生の 32.4%が ChatGPT を利用と回答》

問 1. (ア) be involved in ～「～に関与する」

(イ) such as 以下が空所に入るべき語の具体例で、「ライティング技術の向上にあまり重点を置いていない」は日本の高等教育における④ weak points「弱点」であろう。

(ウ) 空所を含む文は「政府や大学は、ChatGPT をどのように活用するかを議論する（ ），学生がどのように利用し、どのような考えをもっているのかを把握する必要がある」。政府や大学側は、当然前もって知っておく必要があるだろうから、② before が適切。

(エ) 空所直前は課題に ChatGPT を使わなかったこと、空所後は課題での ChatGPT の使用はズルをしていることになると思う、とあることから、④ why を入れて「理由を尋ねられると」とするのが適切。

問 2. (a) make the most of ～「～を最大限に利用する」は③ make full use of ～ とほぼ同じ意味。①「～を廃止する」 ②「～を尊敬する」 ④「～を埋め合わせる」

(b) edit「編集する」はこの場合、② revise「改訂する」が一番近い。

(c) concern は「関心事、心配、懸念」という意味なので、④が近い。①「賛成」 ②「反対、異議」

(d) entirely は「完全に」という意味なので、②が近い。

(e) fairness は「公平性」という意味なので、②が近い。

問 3. (あ) 波線部(A)の意味は「多くの学生はそうではないと考えているようだった」。but の前では ChatGPT は学生の創造性や批判的に考える力を衰えさせるとあり、これを受けて学生たちはそうは考えていないという意味である。よって、②「ChatGPT や類似の AI プログラムは、必ずしも彼らの創造性や批判的思考力を損なうものではない」が正解。

(い) 波線部(B)の意味は「すべての学生が学業の課題でチャットボットを使うことに肯定的というわけではない」。続く文にその理由が記されているが、波線部(B)を含む段落の最終文 (Another 24.7 percent …) より、チ

チャットボットは間違った答えを提示する可能性があると考えている学生がいることがわかるので、②「チャットボットは必ずしも信頼のおける情報源ではないと考えている」が正解。

問4. 空所の発言を受けて、Bはその答えは学生の約85%の回答と同じだと答えている。本文で約85%の回答を探すと、第3段第2文(Of those who …)のand 85.3 percent …に見られる。よって、④「チャットボットが生成した表現を書き換えて、自分の考えを伝えたい」が正解。

問5. ①「サイトウ教授は多くの学生がチャットボットの使用について正直に答えた」と述べた」

第2段第1文(“Many students were …”)に一致する。

②「調査で、学生の14%が宿題を終わらせるためにChatGPTを使用したと回答した」

第3段第1文(Of 4,000 undergraduate …)に一致する。

③「オオモリ教授は大学に入学する前に学生は文章力を身につけるべきだと考えている」

第4段第1文(The survey results …)のオオモリ教授の発言内容は、ライティング技術に重点を置いていないことは高等教育における弱点だと言っているが、身につけるべきとは言っていないので、一致しない。

④「この調査を実施した教授は、政府にChatGPTの禁止を忠告するためにデータを集めた」

第4段最終文(The government and …)より、データを集めた理由は、学生たちのChatGPTの使い方やそれに対する考え方を知りたかったからなので、一致しない。

⑤「創造力を伸ばしたい学生は、大学でChatGPTを決して使用しなかった」

第5段第1文(Many people have …)で、ChatGPTの使用で創造力や批判的思考力が損なわれるのではという懸念とは裏腹に、学生たちはそうではないと考えているので、一致しない。

⑥「警告された後でさえも課題をするのにチャットボットを使用した学生がいたことがわかった」

警告云々という内容は第7段(Such responses seem …)にあるが、これはChatGPTを使わなかった理由として正しくない答を出す可能性が

あるからと回答したことが、教授陣の警告を反映していたものだという内容である。選択肢の文とは意図している内容が違う。

⑦「大学の教授陣はすでにすべてをチャットボットに頼らないように学生に警告した」

第7段第1文 (Such responses seem …) に一致する。

⑧「調査で、大学でチャットボットを禁止すべきだと考える学生がほぼ半数にのぼることがわかった」

最終段第2文 (Some said it …) から禁止すべきという学生が一部いることはわかるが、半数とは言っていないので、一致しない。

III 解答 (1)—④ (2)—① (3)—① (4)—① (5)—④ (6)—③
(7)—② (8)—② (9)—③ (10)—③

解説

(1) 「60年以上経過した」 ~ years have passed since … 「…して以来～年が経過している」

(2) as many as ~ 「～も (多く)」

(3) That is because ~ 「それは～だからである」

(4) 仮定法過去完了で、if が省略されて疑問文の語順になっている。

(5) 「私がかつて住んでいた家」 live in … と前置詞が残っているので、関係代名詞を使わなければならない。where を選ばないように注意する。

(6) with her eyes filled with tears 「彼女の目にいっぱい涙をためて」

(7) 「私が夕食会に来るかどうか」

(8) have A done 「A を～してもらう」

(9) 「予算はほんの 200 ドルです」

(10) mind の直後の動詞は動名詞にする。

IV 解答 (3 番目・5 番目の順に) (ア)—②・① (イ)—⑤・③
(ウ)—④・⑥ (エ)—⑥・① (オ)—①・③ (カ)—④・⑤
(キ)—①・③ (ク)—⑤・① (ケ)—④・② (コ)—③・②

解説

(ア) (My mother) scolded me for not doing my homework(.)
scold A for ~ 「A を～のことで叱る」

(イ) However hard we worked on the project(, the results were not what we had hoped for.)

However + 形容詞 / 副詞 + S V 「どれだけ ～ S が V しても」

(ウ) (Breakfast is important) because it provides the brain with energy(.)

provide A with B 「A に B を提供する」

(エ) (This old statue) is said to have been carved (more than 1,000 years ago.)

S be said to do 「S は～と言われている」

(オ) (This product) is the best in terms of quality(.)
in terms of ～ 「～に関して」

(カ) (Tom) behaved as if he knew the truth(.)
as if ～ 「まるで～であるかのように」

(キ) This book will enable you to understand (the economy.)
enable A to do 「A は～することができる」

(ク) (Do you have any idea) what he wants to do in (Singapore?)
what he wants to do 「彼がしたいこと」

(ケ) (Everyone is) anxious to read the next book in (the series.)
be anxious to do 「～したくてたまらない」

(コ) (You) shouldn't take it for granted that (you can go to school every day.)

take it for granted that ～ 「～を当然のこととみなす」